

河川技術シンポジウム2026 特定課題オーガナイズドセッション2(OS2)

河川環境目標を現場につなぐ評価・設計・管理技術

6月19日(金) 9:00 - 11:00

オーガナイザー

原田守啓 岐阜大学

知花武佳 政策研究大学院大学

藤本雄介 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課

崎谷和貴 (公財)リバーフロント研究所

三浦 心 (株)建設技術研究所

松田浩一 パシフィックコンサルタンツ(株)

特定テーマC 「治水目標と河川環境目標を達成するための 知見と技術」のテーマ設定の背景（論文募集より抜粋）

- ◆治水と河川環境の調和を実現するための技術や、現場で得られた実践的知見の共有は、河川技術論文集および河川技術シンポジウムの重要テーマ
- ◆近年、気候変動への適応、流域治水への転換、自然環境がもつ多様な機能を活かしたグリーンインフラの取り組み、観測・モニタリング・計算技術の高度化など、河道管理を取り巻く環境は急速に変化。
- ◆気候変動予測と影響分析の進展に伴い、洪水の規模・頻度の増加が見込まれ、基本高水の引き上げを伴う河川整備基本方針の改訂が進みつつあり、河道配分流量の増加など河川計画上の要請は一層強まっています。
- ◆他方、令和6年改訂の「多自然川づくり基本指針」では、「その河川が本来有している流量や土砂のダイナミズム等、河川全体の自然の営みを視野に入れた川づくり」が明確に示され、河川環境に関する科学的知見を管理に反映する潮流が高まっています。
- ◆河道内物理環境に関する定量的な環境目標の設定・試行が始まり、新たな管理目標としての意義が注目されている一方、取り組みは緒についた段階であり、研究と実践の両面から知見の蓄積が求められています。

特定課題OS2

『河川環境目標を現場につなぐ評価・設計・管理技術』 趣旨

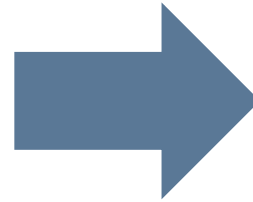
論文募集時の課題設定

特定テーマC

「治水目標と河川環境目標を達成するための
知見と技術」

- ・河川環境の現状把握と目標設定
- ・治水と環境を両立する河道設計・
管理技術
- ・流域治水・グリーンインフラ等との連携
- ・温暖化に伴う河川水温上昇への対応

投稿論文群の
課題設定



OS2で議論したい3つの論点

- 1 目標設定**
現状把握・科学的知見・経験的知見を、
河川環境目標へどう翻訳するか？
- 2 河川管理への実装**
評価指標, 予測技術, 施工・管理プロセス,
合意形成をどう接続するか？
- 3 目標の達成手段**
河道掘削・樹木管理等を、
治水と環境の両面からどう使いこなすか？

「河川環境目標」の設定の現状を知る／目標設定の在り方は？
治水を進めながら河川環境目標にも向かっていくための方策は？

特定課題OS2 話題提供・総合討議

- 話題提供(1)

【藤本雄介様（国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 技術調整官）】
河川環境定量目標設定にかかる背景と設定状況について

- 話題提供(2)～(4) 特定テーマC論文から3題, 話題提供

【大槻順朗先生（山梨大）】

扇状地河川における礫列に着目した環境目標の検討と魚類の保全効果

【秋田麗子様（日本工営）】

河道計画・設計において、河川環境の質を高める上での課題～実務の観点から～

【後藤勝洋先生（中央大学）】

六角川の河道内湛水池群を治水と環境の両面からどう評価するか？

- 総合討議 [コーディネータ, パネリスト, 参加者]

- 話題提供を振り返り論点再提示 ⇒ 論点周辺を重点的に議論 ⇒ 議論の進展整理
パネリストとして【今村正史様(武雄河川事務所副所長)】にも登壇いただきます。

OS2 総合討議の論点

ピックアップ論文3題はおおよそ以下の論点に対応したもの。
ピックアップ論文以外にも関係する論文が複数あり、企画趣旨や総合討議のコーディネータからも紹介し、会場からも積極的に意見を求めます。

① 河川環境の現状把握や科学的・経験的知見を、河川環境目標の設定にどうつなげるか？（河川環境目標への提案）

萱場ら 宮脇ら 群落クラスタ

兵藤ら アユ用いた環境指標

周ら 水域・陸域ハビタット指標

○唐沢ら 扇状地河川の礫列

江口ら eDNA魚類生息ポテンシャル

原田 石を残す

② 河川環境目標の達成に向けて、評価指標、予測技術、施工・管理プロセス、合意形成をどのように接続するか？（仕組みとワークフローへの実装）

中村ら 多摩川河川整備計画

○秋田ら 河川環境管理シートから

③ 河道掘削・樹木管理等の維持管理行為を、河川環境目標の達成手段としてどう再設計するか？（具体的な達成手段）

○後藤ら 六角川の掘削による湛水池の環境評価

吉田ら 既往掘削事例の分析

坂本ら 大手川のワンド

原田 掘削時には石を残す

総合討議コーディネータ：原田，知花

登壇者： 藤本様(国交省)，大槻先生(山梨大)，秋田様(日本工営)，今村様(武雄河川)，後藤先生(中央大)

総括コメント： 官)藤本様， 民)三浦様 学)知花先生